

平成23年第1回臨時会

津別町議会会議録

平成 23 年第 1 回 津別町議会臨時会会議録

招 集 日 平成 23 年 1 月 18 日

場 所 津別町議会議事堂

開会日時 平成 23 年 1 月 21 日 午前 10 時 00 分

閉会日時 平成 23 年 1 月 21 日 午前 10 時 45 分

議 長 鹿 中 順 一

副 議 長 篠 原 眞 稚 子

議員の応召、出席状況

議席 番号	氏 名	応 召 不応召	出席 状況	議席 番号	氏 名	応 召 不応召	出席 状況
1	乃 村 吉 春	○	○	6	白 馬 康 進	○	○
2	谷 川 忠 雄	○	○	7	藤 原 英 男	○	○
3	茂呂竹 裕 子	○	○	8	山 内 彬	○	○
4	村 田 政 義	○	○	9	篠 原 眞 稚 子	○	○
5	鳥 本 英 樹	○	○	10	鹿 中 順 一	○	○

地方自治法第 121 条の規定により説明のため出席した者の職氏名

(イ) 執行機関の長等

職 名	氏 名	出 欠	職 名	氏 名	出 欠
町 長	佐藤 多一	○	監 査 委 員	幾世橋良三	○
農業委員会委員長			選挙管理委員会委員長		
教育委員会委員長					

(ロ) 委任または嘱託

職 名	氏 名	出 欠	職 名	氏 名	出 欠
副 町 長	佐藤 正敏	○	教 育 長	阿部 博道	○
総 務 課 長	林 伸行	○	学 校 教 育 課 長	房田 敏彦	○
総 務 課 主 幹	川口 昌志	○	社 会 教 育 課 長	徳田 博一	○
行政経営推進室長	金 一 昇	○	農業委員会事務局長	深田 知明	○
企画財政課長	斉藤 善己	○	農業委員会事務局次長	小野寺祥裕	○
企画財政課参事	石橋 吉伸	○	選 管 局 長	林 伸行	○
住民生活課長	山口 善勝	○	選 管 次 長	川口 昌志	○
住民生活課主幹	伊藤 同	○	監査委員事務局長	長良 英俊	○
保健福祉課長	鶴田 憲治	○			
保健福祉課主幹	山田 英孝	○			
特 養 園 長	鈴木 悦郎	○			
特 養 主 幹	清野 敏幸	○			
産 業 課 長	深田 知明	○			
産 業 課 主 幹	小野寺祥裕	○			
建 設 課 長	上野 安男	○			
建 設 課 主 幹	江草 智行	○			
会 計 管 理 者	酒井 操	○			
総務課庶務担当主査	伊藤 泰広	○			
企画財政課財政主査	横山 智	○			

会議の事務に従事した者の職氏名

職 名	氏 名	出 欠	職 名	氏 名	出 欠
事 務 局 長	長良 英俊	○	事 務 局 主 任	中橋 育美	○
事 務 局 主 査	石川 篤	○			

会 議 に 付 し た 事 件

日程	区分	番号	件 名	顛 末
1			会議録署名議員の指名	3番 茂呂竹裕子 4番 村田 政義
2			会期の決定	1月21日1日間
3			諸般の報告	
4			行政報告並びに提案理由の説明	
5	同意	1	副町長の選任について	
6	議案	1	平成22年度津別町一般会計補正予算（第5号）について	
7	報告	1	例月出納検査の報告について（平成22年度11月分）	

(午前 10 時 00 分)

◎開会の宣告

○議長（鹿中順一君） おはようございます。流氷が来たということで寒い毎日が続いておりますけれども、本日は早朝よりお集まりいただきましてありがとうございます。

ただいまの出席議員は全員であります。

ただいまから平成 23 年第 1 回津別町議会臨時会を開会します。

◎開議の宣告

○議長（鹿中順一君） これから本日の会議を開きます。

本日の会議に付する議案は、お手元に配付のとおりです。

◎会議録署名議員の指名

○議長（鹿中順一君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第 118 条の規定により、議長において

3 番 茂呂竹 裕 子 さん 4 番 村 田 政 義 君

の両名を指名します。

◎会期の決定

○議長（鹿中順一君） 日程第 2、会期の決定を議題とします。

お諮りいたします。本臨時会の会期は、本日 1 日間にいたしたいと思えます。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長（鹿中順一君） 異議なしと認めます。

したがって、本臨時会の会期は本日 1 日間に決定いたしました。

◎諸般の報告

○議長（鹿中順一君） 日程第 3、諸般の報告を行います。

事務局長に報告させます。

○事務局長（長良英俊君） これから諸般の報告を申し上げます。

本日の議事日程については、お手元に配付してあります日程表のとおりであります。

前議会から本日までの議会の動向につきましては、お手元に配付しているとおりであります。

本日の会議に説明のため出席する者の職、氏名は一覧表としてお手元に配付しているとおりであります。職務の都合により一部異動がある場合がありますことをご了承願います。

以上でございます。

○議長（鹿中順一君） これで諸般の報告を終わります。

◎行政報告並びに提案理由の説明

○議長（鹿中順一君） 日程第4、行政報告並びに提案理由の説明を行います。

町長から行政報告並びに提案理由の説明に関して発言の申し出がありますので、これを許します。

町長。

○町長（佐藤多一君）〔登壇〕 おはようございます。本日ここに第1回臨時議会を招集いたしましたところ、議員各位には極めてご多忙のところご出席賜り、厚くお礼申し上げます。

ただいま発言のお許しをいただきましたので、12月定例議会後の行政報告と本日付議いたしております2件の議件につきまして、提案の概要をご説明申し上げます。

はじめに、寄附についてであります。1月11日、大通、廣瀬肇一様より、デイサービスセンターの備品購入等に充ててほしいと、2万円のご寄附をいただいたところあります。ご厚志に深く感謝申し上げますとともに、ご趣旨に沿って有益に使用させていただき所存であります。

次に、成人式についてであります。1月9日、中央公民館において、町内外合わせて56名（男性32名・女性24名）の新成人と多くの来賓の方々をお迎えして挙行いたしました。式典では、新成人から希望に燃える力強い「成人の誓い」が述べられ、

厳粛の中にも和やかに式典を終えることができました。また、この日は、恒例となりました北見室内管弦楽団の皆様によるオーケストラ演奏などで、新成人の門出を祝ったところでもあります。新成人の皆様方には、これからの社会や津別町を担う若者として限りない大きなパワーを期待するとともに、町政を担う私としても明るく元気な住みよい町づくりに努める思いを新たにしたところでもあります。

次に、第 15 回カレンダー展示即売会についてであります。1月9日、中央公民館において、つべつかわら版福祉基金（代表 大東 勲様）主催によるカレンダーの展示即売会が行われました。この度、主催者から即売会での売上金 3 万 9,950 円を中央公民館図書室の一般図書としてご寄贈いただいたところであり、毎年のご厚志に対し、衷心より感謝申し上げる次第であります。

次に、全道リコーダーコンテストの結果についてであります。1月11日に札幌市サンプラザホールで開催されました「第 25 回全道リコーダーコンテスト」において、活汲小中学校の児童・生徒の皆さんが、中学校合奏の部において金賞の荣誉に輝き、来る 3 月 27 日に東京都江戸川区総合文化センターで開催される全国大会への出場権を獲得しました。この荣誉をたたえますとともに、平成 15 年から 8 年連続となる全国大会での活躍に期待するものであります。

次に、死亡交通事故ゼロ日運動についてであります。平成 22 年 3 月 21 日を起算日として取り組んでまいりました死亡交通事故ゼロ日運動は、1 月 14 日に目標の 300 日を達成しました。次の目標を 500 日（達成日 平成 23 年 8 月 2 日）として、全町民とともにこの運動を推進する決意ですので、議員各位をはじめ全町民の皆様のご協力をお願い申し上げます。

引き続き、本日の付議々件について、提案の理由をご説明申し上げます。

同意第 1 号 「副町長の選任について」は、1 月 24 日をもって任期満了となる副町長の選任について、地方自治法第 162 条の規定に基づき、議会の同意を求めるところであります。

議案第 1 号 「平成 22 年度津別町一般会計補正予算（第 5 号）について」は、歳入歳出予算の総額に対し、歳入歳出それぞれ 1 億 4,924 万 7,000 円を追加し、歳入歳出予算の総額を 53 億 2,491 万 1,000 円とするものであります。

今回の補正につきましては、国の平成 22 年度補正予算（第 1 号）の成立に伴い、地域活性化交付金が交付されることから、緊急総合経済対策の趣旨に沿い、きめ細かな交付金については、津別町林業研修会館改修事業ほか 6 件、住民生活に光をそそぐ交付金については、NPO 自立支援活動事業ほか 2 件に対する交付金対象費用の補正及び地方債の追加補正に伴い地域振興基金繰入金の減額、財政調整基金積立金の補正を主に歳入歳出予算の補正をお願いするものであります。

以下、補正の内容につきまして歳出・歳入の順で申し上げます。

歳出では、総務費で、財政調整基金積立金として 763 万 8,000 円の追加、庁舎等維持管理経費として 3,989 万円の追加、多目的活動センター整備事業として 2,806 万円の追加。民生費で、社会福祉管理経費として 410 万円の追加、共和集会施設管理経費として 650 万円の追加、福祉基金積立金として 891 万円の追加。衛生費で、地域医療施設整備助成として 3,100 万円の追加、予防接種経費として 243 万円の追加。土木費で、町道整備事業として 1,445 万 2,000 円の追加。教育費で、学校図書整備事業（小学校費）として 297 万円の追加、学校図書整備事業（中学校費）として 121 万円 1,000 円の追加、運動広場管理経費として 208 万 6,000 円の追加。

歳入では、国庫支出金で 9,331 万 7,000 円の追加、道支出金で 94 万 3,000 円の追加、繰入金で 4,851 万 3,000 円の減額、町債で 1 億 350 万円の追加をするものであります。このほか、地方債 3 件の追加を行い、補正予算を編成したものであります。

以上、提案議件について申し上げましたので、慎重にご審議の上、原案にご協賛賜りますようお願い申し上げ、行政報告並びに提案理由の説明にかえる次第であります。

よろしく願いいたします。

○議長（鹿中順一君） 以上で行政報告並びに提案理由の説明を終わります。

◎同意第 1 号

○議長（鹿中順一君） 日程第 5、同意第 1 号 副町長の選任についてを議題とします。

提出者の説明を求めます。

（副町長～退席）

○議長（鹿中順一君） 町長。

○町長（佐藤多一君） ただいま上程されました同意第1号につきまして提案理由のご説明を申し上げます。

来る、1月24日をもって任期満了となる副町長の選任についてであります。引き続き佐藤正敏副町長を選任いたしたく、今回の議会において同意をお願いするものであります。

議員の皆様には御承知のことと思いますが、佐藤副町長につきましては、本町豊永63番地51に居住しており、昭和24年5月17日生まれの61歳でございます。昭和43年3月に地元津別高校を卒業後、同年4月に津別町役場に奉職し、平成15年に教育委員会管理課長、平成16年に保健福祉課長、平成19年から現在の副町長を務めております。佐藤副町長は、この間私の補佐役として町政のさまざまな課題解決に取り組み、進むべき方向性をともに共有したところではありますが、第5次総合計画がスタートした今、職員を統率していく最適な人材と考え、地方自治法第162条の規定により副町長の同意を求めたく提案させていただきましたので、ご同意くださいますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

○議長（鹿中順一君） 本案について質疑を許します。

8番、山内彬君。

○8番（山内 彬君） この案件につきまして今町長のほうから提案理由についてお聞きしたところでございますが、このことにつきまして確認含めてお答えをいただきたいと思っております。

四年間の詳しい実績、評価について具体的になかったわけでございますが、私の聞くところでは、昨年から今年にかけて、この選任にあたっての町長、副町長の第三者に対する発言のことが、ほかの方から私の耳にも入っているところです。この選任にあたっての経過について、町長含めた発言のことにつきまして確認をしたいというふうに思います。具体的に申しませんけれども、ほかの方の、いわゆる新たな副町長を選ぶことを考えていたのか、それあたりもお聞きしていたところでございますが、そういう事実があったかどうか確認をさせていただきたいと、そういうふうに思います。

○議長（鹿中順一君） 町長。

○町長（佐藤多一君） 具体的な内容については、ちょっと発言がありませんでしたが、要は四年間終わりました、そして二期目、私また再び四年間を与えられました。12月23日から二期目が始まったところでありますけれども、副町長の選任について、さまざま私もこれまでの経過等々も含めて考えてまいりまして、そして人事案件として、ここに佐藤副町長を再びお願いしたいということで出しておりますので、こと細かな人事背景だとか、そういうものについては、ここでご説明するというのは不適切ではないかというふうに考えますので、さまざまなことが思考した結果またお願いをしたいという結論に至ったということです、ご理解を賜りたいというふうに思います。

○議長（鹿中順一君） 8番、山内彬君。

○8番（山内 彬君） 正確にお答えいただけなかったわけですが、町の中の方が直接町長から話を聞いたというふうに私も耳にしているところです。そういう事実について今答えることは不適切だというふうにお答えいただいたわけなのですが、そういう事実本当はお聞きしたかったと思いますけれども、お答えできないということであればこれはやむを得ないと思います。そういうことで終わりたいと思います。

○議長（鹿中順一君） ほかにございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 質疑を終結します。

討論を省略し、これより同意第1号を採決します。

この採決は起立によって行います。

異議ありませんか。

8番、山内彬君。

○8番（山内 彬君） この選任の採決につきまして、記名投票採決を求めるものでございます。よろしく願いいたします。

○議長（鹿中順一君） 会議規則第82条第1項の規定により2人以上を必要といたします。

よって、異議ある諸君の起立を求めます。

（何事か言う声あり）

○議長（鹿中順一君） 起立採決に対して異議ある人は、起立願いますということです。2人以上ないとだめです。

（何事か言う声あり）

○議長（鹿中順一君） 起立採決でだめだという人が立ってくださいということです。今記名投票という提案があったので、それに賛成の方は起立してくださいということです。

（何事か言う声あり）

○議長（鹿中順一君） 記名投票という今意見が出ましたので、それに対して賛成とこの人は立ってくださいということです。ですから、異議あるということは起立採決に異議ある方は、起立願いますということです。

（何事か言う声あり）

○議長（鹿中順一君） 記名に賛成の人は起立してください。要するに2名以上の賛成がないと成立しませんので。

（何事か言う声あり）

○議長（鹿中順一君） もう一度言います。

会議規則第82条第1項の規定により2名以上を必要といたします。

よって、起立採決に異議ある諸君の起立を求めます。

（異議者起立）

○議長（鹿中順一君） 起立2名以上であり、異議の申し立ては成立しました。

よって、同意第1号については記名投票をもって採決します。

議場の出入り口を閉鎖します。

（議場出入り口閉鎖）

○議長（鹿中順一君） ただいまの出席議員は9人であります。

次に、立会人の指名をします。

会議規則第32条第2項の規定により、立会人に3番、茂呂竹裕子さん及び4番、村田政義君を指名します。

投票用紙を配付します。

（投票用紙配付）

○議長（鹿中順一君） 念のために申し上げます。本案は賛成の方は、左側の枠の中に賛成と、反対の方は反対と記載し、右側に自己の氏名をあわせて記載願います。

また、会議規則第 84 条の規定により、白票は否とみなします。

再度申し上げます。

本案に賛成の方は、左側の枠の中に賛成と、反対の方は反対と記載し、右側に自分の名前をあわせて記載願います。

投票用紙の配付に漏れはありませんか。

（配付漏れなし）

○議長（鹿中順一君） 配付漏れなしと認めます。

投票箱を点検します。

（投票箱点検）

○議長（鹿中順一君） 異常なしと認めます。

ただいまから投票を行います。

事務局長が議席番号と氏名を呼び上げますので、順番に投票願います。

○事務局長（長良英俊君） 1 番、乃村議員。2 番、谷川議員。3 番、茂呂竹議員。4 番、村田議員。5 番、鳥本議員。6 番、白馬議員。7 番、藤原議員。8 番、山内議員。9 番、篠原議員。

○議長（鹿中順一君） 投票漏れはありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 投票漏れなしと認めます。

投票を終わります。

開票を行います。

茂呂竹裕子さん及び村田政義君。開票の立会をお願いいたします。

（開 票）

（立会人の立会い）

（議長の点検）

○議長（鹿中順一君） 開票の結果を報告します。

投票総数 9 票。有効投票 9 票。無効投票 0 票。有効投票のうち、賛成 5 票、反対 4

票。

以上のとおり賛成が多数です。

したがって、同意第1号は同意することに決定いたしました。

「賛成 乃村吉春議員、村田政義議員、鳥本英樹議員、藤原英男議員
篠原眞稚子議員」

「反対 谷川忠雄議員、茂呂竹裕子議員、山内彬議員、白馬康進議員」

議場の出入り口を開きます。

(議場出入り口開放)

○議長(鹿中順一君) 暫時休憩します。

休憩 午前10時28分

再開 午前10時28分

○議長(鹿中順一君) 休憩を閉じ再開します。

◎議案第1号

○議長(鹿中順一君) 日程第6、議案第1号 平成22年度津別町一般会計補正予算(第5号)についてを議題とします。

内容の説明を求めます。

企画財政課長。

○企画財政課長(斉藤善己君) ただいま上程となりました議案第1号 平成22年度津別町一般会計補正予算(第5号)につきまして説明いたします。

それでは、各条項をごらんいただきたいと思います。

第1条につきましては、歳入歳出にそれぞれ1億4,924万7,000円を追加し、補正後の予算の総額を53億2,491万1,000円とするものであります。今回の補正につきましては、提案理由にもありますように円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策の趣旨に沿った地域の活性化ニーズに応じた事業を行うためのきめ細かな交付金と、これまで住民生活にとって大事な分野でありながら光が十分にあてられてこなかつ

た分野として、住民生活に光をそそぐ交付金の地域活性化交付金が創設されたことに伴いまして実施計画を作成し、内閣府に計画書の提出を行い、今般交付対象事業に係る補正予算案について議会に上程をするものであります。

それでは、歳出を説明いたしますので、6ページから7ページをお開きいただきたいと思っております。総務費、総務管理費、財政管理費、財政調整基金積立金は、地方債補正に伴い一般財源の積み立てができることとなったことから763万8,000円の増額補正をお願いするものであります。次の財産管理費、庁舎等維持管理経費の15節工事請負費、林業研修会館改修工事は、きめ細かな交付金を活用し、建具、内部、外壁、屋根の老朽施設を改修するため3,989万円の増額補正をお願いするものであります。

次の地域振興費、企画振興費、多目的活動センター整備事業は、きめ細かな交付金を活用し、現在建設中の本センター駐車場等の外構工事に要する実施設計及び外構工事といたしまして2,806万円の増額補正をお願いするものであります。

次に、民生費、社会福祉費、社会福祉総務費、社会福祉管理経費は、住民生活に光をそそぐ交付金を活用し、特定非営利活動法人 津別町手をつなぐ育成会が実施する障がい者の自立就労対策などの事業に対し、補助する費用といたしまして410万円の増額補正をお願いするものであります。次の社会福祉施設費、共和集会施設管理経費は、きめ細かな交付金を活用し、集会施設の屋根を改修するため650万円の増額補正をお願いするものであります。

次に、8ページから9ページをお開きください。老人福祉費、福祉基金積立金は、きめ細かな交付金、住民生活に光をそそぐ交付金を活用して、子宮頸がん等ワクチン接種事業及び特定非営利活動法人 津別町手をつなぐ育成会が実施する平成23年度、24年度事業につきまして、交付金の交付要綱の基金事業とされたことから891万円の増額補正をお願いするものであります。

次の衛生費、保健衛生費、保健衛生総務費、地域医療施設整備助成は、きめ細かな交付金及び過疎対策事業債を活用いたしまして、丸玉産業株式会社津別病院が整備する高度医療機器に対する補助といたしまして3,100万円の増額補正をお願いするものであります。次の予防費、予防接種経費は、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチン予防接種に係る平成22年度分といたしまして243万円の増額補正をお願いする

ものであります。

次の土木費、道路橋梁費、道路橋梁新設改良費、町道整備事業は、きめ細かな交付金を活用して町道 70 号線改良舗装工事といたしまして、1,445 万 2,000 円の増額補正をお願いするものであります。なお、町道改良舗装工事に関係する給水管の移設、あるいは下水道の布設替え工事につきましては、新年度予算を交付金対象事業としないで新年度予算計上をしたいというふうに考えております。

次に、10 ページから 11 ページをお開きいただきたいと思います。教育費、小学校費、教育振興費、学校図書整備事業は、住民生活に光をそそぐ交付金を活用し、学校図書整備を行うものですが、7 節賃金は、図書購入に係るデータ作成のための臨時筆耕、11 節需用費は、データ作成のための文具・消耗器材と学校図書、18 節備品購入費は、図書台帳のソフトの購入、図書書架、図書等の経費といたしまして総額 297 万円の増額補正をお願いするものであります。次の教育費、中学校費、教育振興費、学校図書整備事業は、住民生活に光をそそぐ交付金を活用し、学校図書整備を行うものですが、内容については、先ほど説明いたしました小学校費と同様なもので、これら諸経費といたしまして 121 万 1,000 円の増額補正をお願いするものであります。

次に、12 ページから 13 ページをお開きいただきたいと思います。保健体育費、体育施設費、運動広場管理経費は、きめ細かな交付金を活用して、共和野球場バックネット張替え工事といたしまして 208 万 6,000 円の増額補正をお願いするものであります。

それでは、歳入にお戻りいただきたいと思います。4 ページから 5 ページをお開きください。国庫支出金、国庫補助金、総務費国庫補助金のきめ細かな交付金、住民生活に光をそそぐ交付金は、本町の交付限度額といたしまして 9,331 万 7,000 円の増額補正をお願いするものであります。

次の道支出金、道補助金、衛生費道補助金は、平成 22 年度国の補正予算（第 1 号）の中で、子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金が道の基金に積み立てし、地方公共団体の実績に基づき交付されることから、接種予定者を勘案して 94 万 3,000 円の増額補正をお願いするものであります。

次の繰入金、基金繰入金、基金繰入金、地域振興基金繰入金は、当初予算で地域医

療維持助成事業の財源を地域振興基金で充当していましたが、過疎対策事業債のソフト事業となりましたことから5,000万円の減額補正をお願いするものであります。次の福祉基金繰入金は、子宮頸がん等ワクチン接種事業の平成22年度実施分といたしまして148万7,000円の増額補正をお願いするものであります。

次の町債、町債、衛生債、地域医療維持助成事業及び地域高度医療維持対策助成事業は、過疎対策事業のソフト事業を適用するため6,900万円の増額補正をお願いするものであります。次の農林業債、林業債、木造公共施設整備事業は、本体工事及び実施設計委託業務の一般財源分につきまして、過疎対策事業債を適用するため3,450万円の増額補正をお願いするものであります。

では、第1表にお戻りいただきたいと思えます。第1表につきましては、ただいま歳出歳入で説明いたしました内容をそれぞれ補正し、第1条の条項どおりとするものであります。

次に、第2条第2表の地方債補正であります。1の追加は、ただいま歳入で説明しました内容を追加し、補正後の総限度額を5億867万円の補正をお願いをするものであります。

以上、説明いたしましたので、よろしくご承認をお願いをいたします。

なお、交付金交付対象の事業のうち繰越事業がありますので、3月定例議会において繰越明許費を設定いたしますので、あわせてよろしくをお願いをいたします。

以上、終わります。

○議長（鹿中順一君） 本案について質疑を許します。ありませんか。

9番、篠原眞稚子さん。

○9番（篠原眞稚子さん） 前回の協議会でもちょっと質問したのですが、3ワクチンの2月から実施されるというふうなお話だったかと思いますが、つい何日か前の美幌新聞だったかちょっと新聞名は忘れたのですが、既に実施している人についても何か申請して、例えば2月に実施するとそこだけになるのか、津別町でも3ワクチンについて既にこの年度というか、4月以降、例えば1月までに実施している人の扱いをどのように考えているかお尋ねします。

○議長（鹿中順一君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（鴫田憲治君） ほかの町村では、今ご指摘のとおり何というのですか、さかのぼって、基準日がありますので、そこまでさかのぼるかとか確認していませんのでわかりませんが、いずれにしてもさかのぼって補助対象にするということをして伺っている事例がありますので、それについては今どうするのか検討中ですので、それについてはできるだけそのような方向でというようには考えていますけど、まだ最終的には決定はしていませんが、今検討中ということでご理解をいただきたいというふうに思います。

○議長（鹿中順一君） 9番、篠原眞稚子さん。

○9番（篠原眞稚子さん） これは非常に今年というか、この年度3ワクチンについては大きく取り上げられているので自治体間格差みたいなのがあったらまずいかなというふうに思ったので検討し、既にいる人たちの対応ができるのなら、そのような方向で実施をしていただきたいなというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

○議長（鹿中順一君） ほかにございせんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 質疑を終結します。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 討論なしと認めます。

議案第1号を採決します。

この採決は、起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（鹿中順一君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

◎報告第1号

○議長（鹿中順一君） 日程第7、報告第1号 例月出納検査の報告についてを議題とします。

監査委員から、平成22年度11月分の例月出納検査について報告書が提出されたので、本臨時会に報告するものであります。

本件については、ご了承願います。

◎閉会の宣告

○議長（鹿中順一君） これで、本日の日程は全部終了しました。

会議を閉じます。

平成23年第1回津別町議会臨時会を閉会します。

ご苦労さまでした。

（午前10時45分）

上記会議のてん末を記載し、その相違ないことを証するためにここに署名する。

津別町議会議長

署名議員

署名議員